

森の子コレンジャー活動報告



第6期森の子コレンジャーが5月に始動しました！
始動式には、コレンジャー卒業生が急きょ参加し、コレンジャーに話をしてくれました。これから1年間、自然を中心に森林レンジャーや仲間と共に活動していきます。

活動は、5月「仲間や活動する地域を知る」、

6月「チームに分かれて森での調査活動」を行いました。活動の最後には、チームごとに結果を発表し、仲間と共有しました。調査の目的はチームごとに違いましたが「自分で森を歩き発見してきた」ことは共通していました。

● 今後の活動が楽しみです！

地域と協働の森づくり～深沢のシャクナゲ植栽地の下刈り作業～



森林レンジャーが始動した6年前、最初の活動が深沢での「郷土の恵みの森づくり事業オープニングイベント」でした。

これまで、植栽地の下刈り作業を深沢自治会主導のもと、年に3回毎年続けてきました。春には、成長したシャクナゲの色とりどりの花たちが私たちの目を楽しませてくれています。

今年も5月に、自治会やサポートレンジャー、

● 森林レンジャーの総勢17名で1回目の整備を行いました。

シャクナゲの成長と、深沢地区を訪れる方に心地よい散策をしていただけることを願って…

● 次回の深沢地区の整備は8月です♪

【サポートレンジャー募集中！

問い合わせ先：環境政策課環境の森推進係

(042)595-1120(直通)】

梅雨～初夏トピックス

カッコウ付けて鳴こうよ！

皆さんも一度は名前を聞いたことがあるカッコウのお話です。海外でも一般に広く知られているカッコウは、昔から身近な存在で、鳴き声や鳴く頻度を理由として、鳴き声を真似した音が時計に使われてきました。そのカッコウ、実は仲間がいます。あきる野で見られるカッコウ科は4種類で、いずれもなぜか鳴き声を理由に名が付けられている様です。それは、カッコウ、ホトギス、ツツドリ、ジュウイチです。いずれも夏鳥として毎年あきる野に飛来します。カッコウは平地の限られた場所で見られないため、あきる野では意外と稀少です。ホトギスは緑地や丘陵、低山などで数多く確認されます。ツツドリは比較的奥山の方で見られます。そして、ジュウイチはあきる野の最も標高の高い山地で数少なく生息します。カッコウ科はみんな同じような「格好」で、お互いによく似てますが、鳴き声や生息環境が異なります。まさしく生物多様性ですね！

このカッコウの仲間は、托卵を行います（繁殖中の他の鳥の巣に自分の卵を産んで育てさせる）。河川敷ならオオヨシキリやウグイスなど、奥山ではオオルリなどの巣で托卵しながら、この暑い時季にあきる野で過ごします。「山賊野鳥」と呼んでもいいくらいずるい存在かも知れませんが、あきる野の梅雨～初夏のBGMでもあり、たくましく生きている鳥類であると思います。

*写真：右上はツツドリ、その下はこれまで密猟などの被害を受けてきた美しいオオルリのオスです。カッコウはよく托卵する種類ですが、オオルリ自体は年々増加しているようで、これらの繋がりに関わらず自然にバランスがとれているかも知れません。



昆虫劇場開幕！

6月から、様々な昆虫が急増化しています。特に甲虫シーズンになって森歩きはさらに楽しくなります。よく目にする種類も、稀少でなかなか見つけられない種類もみんな森の中で繁殖などを行いながら、限られた時期を一生懸命生きています。

- ① 里山環境の代表者オオムラサキ。大型で美しい蝶々です。
- ② 7月4日、今年のミヤマクワガタ初確認。やはり格好いい。
- ③ 初夏、あきる野の所々で数多く見られるルリボシカミキリ。ニガイチゴと並んで絵になります。



山情報！

高温・高湿の時季に入り、草の生い茂りがあつと言う間に目立って来ました。この生い茂りは、ハイキングコース上で通行の支障や、道の不明瞭による道迷いを起こし、さらにマダニが好む環境となります。そのため、レンジャーは巡視などの際に、草刈作業を実施しています。



草刈前

草刈後



(パブロ)